

g(一様分布) からの 三次関数 g の最尤推定

hsjoihs

1. 概要 1

区間 $[0, 1]$ 上の連続一様分布に従う確率変数 K を導入し、三次関数 $g(x) = a + bx + cx^2 + dx^3$ を用いて $X = g(K)$ と書ける確率変数を考える。ただし、 g は単調増加するものとするので、 $d > 0, c^2 - 3bd < 0$ を前提とする。このとき、パラメータの最尤推定を試みる。

2. 3 パラメータ

2.1. 概要

区間 $[0, 1]$ 上の連続一様分布に従う確率変数 K を導入し $X = A(K - B)^3 + C(K - B)$ と書ける確率変数を考える。ただし、 $A > 0, C > 0, 0 < B < 1$ とする。 B は X が 0 以下になる確率を表す。このとき、パラメータの最尤推定を試みる。

2.2. 累積分布関数と確率密度関数

とりあえず、累積分布関数と確率密度関数を求める。 $G(x) = A(x - B)^3 + C(x - B) (0 < x < 1)$ の逆関数が累積分布関数であるので、 $x = A(y - B)^3 + C(y - B)$ である。ここで $k = \sqrt{\frac{3A}{4C}}$ とおくと

$$\frac{3k}{C}x = 4k^3(y - B)^3 + 3k(y - B)$$

ここで $k(y - B) = \sinh \lambda$ とおくと $\frac{3k}{C}x = 4\sinh^3 \lambda + 3\sinh \lambda = \sinh 3\lambda$ であり、これは

$$\frac{\operatorname{arsinh}\left(\frac{3k}{C}x\right)}{3} = \lambda \text{ と書ける。}$$

ゆえに、累積分布関数は $y = F(x) = B + \frac{1}{k} \sinh \frac{\operatorname{arsinh}\left(\frac{3k}{C}x\right)}{3} (G(0) < x < G(1))$ であり、確率密度関数はこれを微分して

$$\begin{aligned} f(x) &= \frac{1}{k} \frac{d}{dx} \sinh \frac{\operatorname{arsinh}\left(\frac{3k}{C}x\right)}{3} = \frac{1}{k} \cosh \frac{\operatorname{arsinh}\left(\frac{3k}{C}x\right)}{3} \cdot \frac{d}{dx} \frac{\operatorname{arsinh}\left(\frac{3k}{C}x\right)}{3} \\ &= \frac{1}{3k} \cosh \frac{\operatorname{arsinh}\left(\frac{3k}{C}x\right)}{3} \cdot \frac{1}{\sqrt{1 + \left(\frac{3k}{C}x\right)^2}} \cdot \frac{3k}{C} \\ &= \frac{1}{C} \cosh \frac{\operatorname{arsinh}\left(\frac{3k}{C}x\right)}{3} \cdot \frac{1}{\sqrt{1 + \left(\frac{3k}{C}x\right)^2}} \end{aligned}$$

つまり、 $f(x)$ の式の形の中に露わには B が現れない。(B は定義域を定める役割のみを果たす。)

以後、 $D = \frac{3k}{C}$ なるパラメータを導入することとする。

2.3. 最尤推定

3つのパラメータ B, C, D を推定することを考える。 X_1, X_2, \dots, X_n の n 個のデータがあったとき、このデータが生成される確率密度の \ln は、データが全て $G(0) < x_i < G(1)$ を満たす場合は

$$J(C, D) = \sum_{i=1}^n \ln \left(\frac{1}{C} \cosh \frac{\operatorname{arsinh}(Dx_i)}{3} \cdot \frac{1}{\sqrt{1 + (Dx_i)^2}} \right)$$

$$= -\sum_{i=1}^n \ln C + \sum_{i=1}^n \ln \left(\cosh \frac{\operatorname{arsinh}(Dx_i)}{3} \cdot \frac{1}{\sqrt{1 + (Dx_i)^2}} \right)$$

$$\frac{\partial J}{\partial C} = -\sum_{i=1}^n \frac{1}{C}$$